

ながさき育成会フォーラム

地域生活支援拠点の整備、
日中支援型GH及び共生型サービスは
私たちの安心と安全な暮らしに何をもたらすのか



令和2年度
事業計画と予算
主要事業予定表

育成会フォーラム 長崎市総合福祉センター

育成会フォーラム テーマⅠ

地域生活支援拠点の整備、日中支援型 GH 及び共生型サービスは私たちの安心と安全な暮らしに何をもたらすのか

全国手をつなぐ育成会連合会 政策センター委員 又村 あおい氏



令和2年2月1日、長崎県総合福祉センター5階の大会議室において、全国手をつなぐ育成会連合会 政策センター委員の又村あおい氏をお招きして、ながさき育成会フォーラム(旧・役員研修会)を開催しました。会場には 120 人を超える方々が集まりました。

研修テーマは『地域生活支援拠点の整備、日中支援型 GH (グループホーム)及び共生型サービスは私たちの安心と安全な暮らしに何をもたらすのか』というものでした。

長いタイトルとは対称的に、又村氏の鋭い現場感覚でお話しされる内容のテンポのよさと時折ユーモアも交えたわかりやすい説明で、2時間があっという間に過ぎました。

「拠点の整備」について、それをどう捉えてどのように行動していくのが実社会において効果的なのかを考える上で『ハコを求めるな』という言葉が印象的でした。

つまり、法改正において私たちが注視しなければいけないポイントは、自立支援法見直しの期日までに「完成」を求めるのではなく、「完成図(見通し)」を求める、というスタンスでいなければならない、ということでした。そして、制度が変わっていく中においても、本人に寄り添った支援を変えてはいけなく、と力強く話されました。

地域共生社会の実現に向けて、まだまだ課題は多いようですが、知恵をしぼって、より良い支援体制の構築を目指さなければならない、と確認させられたフォーラムでした。

育成会フォーラム テーマⅡ

シンポジウム 地域生活支援拠点整備の進捗状況と今後の見通しなど

午後からのシンポジウムでは、県障害福祉課 自立就労支援班参事 猿渡圭子氏、あじさいの家 管理者 大平博幸氏、相談支援センター悠(はるか)管理者 藤井修氏も加わり、長崎県における拠点整備の進捗状況と今後の見通しについての報告があり、それぞれの現場の方々の「現在地」を知ることができました。

そして、関係者や担当者の協議の場を、『不備や不満を伝えるだけの場にしてはいけない。双方向からのアイデアを出し合えるような関係性へのアプローチが大切だ』と、話されていました。



左から藤井氏、猿渡氏、大平氏

シンポジウムの感想

シンポジスト: あじさいの家 管理者 大平 博幸氏

今回初めて「ながさき育成会フォーラム」の発表者として参加させていただきました。各分野の方から発表があり、現時点での長崎県の現状を知ることが出来ました。

あじさいの家は、保護者のみなさんのご尽力もあり、利用者さんの終の棲家として、平成7年に誕生したケアホームです。利用者さんの生活の質の向上を目的に、高齢となっても安心して暮らせるよう、24時間体制でケアを行っており、その様子をご紹介しました。

「地域生活支援拠点」を進めるにあたり、その資源のひとつとして「日中支援型 GH」や「共生型サービス」があり、それを活用することで、将来に横たわる「我々の不安」がいくらかでも「安心・安全」な暮らしになっていくということを知っていただけた研修会ではなかったかと思います。

また、育成会がこの研修会を開催し、ご本人の親や支援者が集い、「将来の不安」を解決する一助となりうる資源について勉強をしたことは、とても有意義だったと感じました。

シンポジスト: 相談支援センター悠 藤井 修氏

私は、シンポジストとして共生型サービスをテーマに発表させていただきました。

相談支援専門員として様々な相談を受けていますが、親亡き後の事や高齢になったころの生活についての相談は、非常に多い相談のひとつです。また、会場でフォーラムに参加されたみなさんの熱心な姿を拝見し、緊張の中で発表致しました。

全体を通したフォーラムでは、誰もが求める安心と安全な暮らしについて、はじめに又村さんの講演を聴かせて頂きました。今回の三つのテーマについてきちんと整理され、必要なポイントをしっかりわかりやすく伝えて下さいました。とても腑に落ちる話で、今後の体制づくりには貴重な講演でした。

午後からのシンポジウムでは、それぞれの立場からの発表でしたが、目指す方向は間違いなく同じと確認できたと思いました。

誰もが安心して暮らせる地域づくりについて、今回のフォーラムは、長崎県にとっては大きな価値があると思います。それは、各地域から参加された育成会のみなさんが、課題と目標を共有できたことではないでしょうか。

私自身このフォーラムに参加して色々な事を学習させて頂きました。育成会の皆様に感謝いたします。そして、長崎県の為に来て下さった又村さんとシンポジストの猿渡参事、あじさいの家の大平さん、ありがとうございました。またお会いする日を楽しみにしています。

【キーワード解説】

支援拠点整備とは…総合支援法・衆参付帯決議 1-③…地域における居住の支援等のあり方について、障害者の高齢化・重度化や「親亡き後」も見据え、グループホーム、小規模入所施設等を含め、早急に検討…を受け、安心して住み続けるための、地域生活を支援する拠点を整備する、ということ。

具体的には「箱もの」を新設することではなく、既存の施設(入所施設)やグループホーム特例(定員 20 名)を整備して、安心コールセンター、体験利用、短期入所、重度対応の通所、相談支援、訪問看護・ヘルパーステーションなどを併設する。1 か所の施設に機能を全集約とは限らず、近隣の既存事業所で機能を分担する「面的整備」も可能。また、地域における障害者の生活を支えるものは全て拠点と捉えることもできる(例えば障害者が SOS を出した場合、窓口として対応してくれるならば警察でも消防署でも役所の守衛室でもコンビニでも OK)。

又村氏によれば、「地域の(福祉以外の)社会資源も巻き込むなど、柔軟な発想次第で多様化した拠点ができるはず。令和3年には各地域の完成予想図が求められる予定。機能が整備されることが目的なので、完成形はなく、継続的にその地域の不足機能を埋めることになるだろう」。

日中サービス支援型 GH とは…重度の障害者等に対して24時間の支援体制を確保することを基本とするグループホーム。日中も利用者が在所可能で、ホーム内でのデイケアや、あるいは外出など他のサービス提供も受けられる。

令和元年度第4回理事会は新型コロナウイルスの影響で書面決議となりました。

令和2（2020）年度事業計画

I はじめに

2019年度は台風等による自然被害など災害発生時に障害のある人達の避難場所や支援のあり方などの課題が具体的に議論されるようになりました。また、新型コロナウイルスの発生により様々な行事や会議等の自粛を余儀なくされ、私たちの活動にも少なからず影響を及ぼす事態となっています。



文化芸術フェスティバル・グラント・オープニング 出展者
／城瑠那子さん(長与町育成会)の作品

一方で、「障害者文化芸術基本法」が制定され、障害者の文化芸術活動を進める取組みも始まっています。

「2020 東京大会・日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル」が本年より2022年までの3年間、全国7カ所で開催されます。本フェスティバルの全国会議の会長は、私たち全育連の久保厚子会長が担っており、九州ブロックでの開催は、長崎県において開催することが決定しています。県育成会としても本実行委員会に委員として参画し開催への協力を行います。（3月末現在、コロナウィルスの影響で当初予定の5月の開催は延期、新たな開催時期は未定となっています）

こうした中、県育成会としては2021年3月末までに地域生活支援拠点事業が各市町や圏域においてどのように整備されるのか、既に福祉サービスとしてスタートしている日中支援型グループホーム、共生型サービスが、私たちの安心・安全な地域生活に「親亡きあと」も含め、どのように作用するのか、引続き注視する必要があると考えます。

また、2016年7月に起きた神奈川県相模原市の障害者支援施設での事件は結審することになると思いますが、犯人の言動に同調する人も一定程度存在することを踏まえ、命の重さと福祉の理念を多くの県民に浸透させることを目的とした活動は、一過性ではなく継続した取組みとして力を注ぐことが重要です。このことにも資する「障害理解啓発研修」を中心に県下各地で研修を開催し、今年度の活動・運動を推進したいと思います。

II 育成会の活性化に向けて

近年の、会員数の減少に対して、前年より開催している「障害理解啓発研修」や今年度より一般社団法人となる全国手をつなぐ育成会連合会が事業として行う保険業務を活用することで会員増につなげたいと思います。

「障害理解啓発研修」は長崎市育成会のキャラバン隊「長崎よかよか隊」の皆さんの協力を得ながら、県下の4箇所で開催する中で、障害の理解啓発に加え、若い会員さんの参加を促すと共に、その参加者を中心にキャラバン隊が結成され、会員増の後押しとなることも目的の一つとして取組みます。

保険への加入については、育成会会員であることが条件である等、会員増への手段として有効であると考え、丁寧に説明し加入促進を図り会員増につなげたいと思っています。



県内各地で開催される障害理解啓発研修／
啓発キャラバン「よかよか隊」

令和2(2020)年度 収支予算概要

区 分	実施事業等会計			その他 会計	法人会計	合計
	継1事業	継2事業	小計			
1 経常収益						
受取会費	0	0	0	0	4,700,000	4,700,000
正会員会費	0	0	0	0	4,000,000	4,000,000
賛助会員会費	0	0	0	0	700,000	700,000
事業収益	230,000	0	230,000	0	820,000	1,050,000
受取補助金等	723,000	341,980	1,064,980	0	0	1,064,980
会議参加収益	40,000	110,000	150,000	1,200,000	0	1,350,000
受取寄付金	0	0	0	0	50,000	50,000
委託事業費	2,450,393	3,025,000	5,475,393	0	0	5,475,393
雑収益	4	0	4	25,000	450,000	475,004
経常収益計	3,443,397	3,476,980	6,920,377	1,225,000	6,020,000	14,165,377
2 経常費用						
事業費	3,848,000	4,556,000	8,404,000	1,634,000	0	10,038,000
障害理解啓発研修	871,000	0	871,000	0	0	871,000
事業所協議会	127,000	0	127,000	0	0	127,000
就労支援セミナー	108,000	0	108,000	0	0	108,000
本人部会関連事業	656,000	0	656,000	0	0	656,000
ゆうあいスポーツ大会	2,086,000	0	2,086,000	0	0	2,086,000
育成会フォーラム(旧役員研修)	0	344,000	344,000	0	0	344,000
障害者 110 番事業	0	3,410,000	3,410,000	0	0	3,410,000
相談員研修	0	216,000	216,000	0	0	216,000
家族支援プロジェクト	0	250,000	250,000	0	0	250,000
広報	0	336,000	336,000	0	0	336,000
県大会	0	0	0	1,155,000	0	1,155,000
九州大会	0	0	0	187,000	0	187,000
全国大会	0	0	0	261,000	0	261,000
累犯障害者支援研修	0	0	0	31,000	0	31,000
管理費	0	0	0	0	4,026,101	4,026,101
慶弔費	0	0	0	0	50,000	50,000
経常費用計	3,848,000	4,556,000	8,404,000	1,634,000	4,076,101	14,114,101
当期経常増減額	-404,603	-1,079,020	-1,483,623	-409,000	1,943,899	51,276
正味財産期首残高						17,561,406
正味財産期末残高						17,612,682

令和2(2020)年度 年間計画

事業等の関係で変更になることがあります。

月	日	曜	活動内容	月	日	曜	活動内容
4	3	金	ゆうあいスポーツ大会名簿校正	10	3	土	第7回全国育成会連合会全国大会 愛媛大会
	14	火	ゆうあいスポーツ大会最終名簿校正		4	日	
	17	金	第1回九育連役員会(大分市)		17	土	九育連会議・(観光・懇親会) 第60回九州大会大分県大会
	23	木	ゆうあいスポーツ大会冊子発送		18	日	
	24	金	長崎県育成会事業所連絡協議会		24	土	第20回全国障害者スポーツ大会 (鹿児島県)
5	13	水	県育成会監査		25	日	
	16	土	ゆうあいスポーツ大会準備		26	月	
	17	日	第42回ゆうあいスポーツ大会 (諫早市多良見町なごみの里運動公園)	11	20	金	第2回県育成会理事会
	31	日	第20回県障害者スポーツ大会		28	土	障害理解啓発研修会(大村市・東彼)
6	6	土	第1回県育成会理事会	12	3	木	障害者110番法律相談(島原市)
	17	水	ゆうあいスポーツ大会反省会		6	日	長崎県障害者芸術祭(平戸市)
	20	土	長崎県育成会定期総会(長崎原爆資料館)		17	木	障害者110番法律相談(壱岐市)
7	3	金	知的相談員研修会(離島・対馬市)	1	13	水	障害者110番法律相談(佐世保市)
	3	金	知的相談員研修会(県北・佐世保市)		23	土	障害理解啓発研修会(五島市)
	4	土	知的相談員研修会(県央・諫早市)		28	木	障害者110番法律相談(西海市)
	18	土	知る見るプログラム (国立諫早青少年自然の家)		29	金	ながさき育成会フォーラム
	19	日		2	9	火	障害者110番法律相談(諫早市)
9	6	日	わたぼうしコンサート in2020		19	金	第3回九育連役員会(大分市)(仮)
	18	金	長崎県大会準備		26	金	障害理解啓発研修会(平戸・松浦市)
	19	土	長崎県大会西彼大会		27	土	事業所協議会全国研修大会(大阪)
	26	土	障害理解啓発研修会(新上五島町)		28	日	
				3	12	金	第3回県育成会理事会
					17	水	家族支援フォローアップ講座

全国育成会フォーラム・全国育成会代表者会議 3月上旬 / ゆうあいスポーツ大会打合せ会議 2月～3月

令和元年度 賛助会員（令和2年3月26日現在 敬称略）

本年度も長崎県手をつなぐ育成会へのご支援に対し、心より感謝申し上げます。

株式会社ながさきUUカンパニー	松尾 美代	シルク印刷工房 わくわくワーク	池田 勝俊
株式会社やまびこ学苑	山田 勝彦	ネットワークセンターひかり	菅 敏洋
悠久会 スマイル	馬場 是光	銀の星学園	永代 秀顕
西海市療育支援相談センター	廣畝 耕一	明けの星寮	永代秀二郎
あじさいの家	大平博幸	木ヶ津文庫『絆』	小山田 輔雄
佐世保祐生園		たんぼぼの里	川口 敬
松光学園	青島 恵	たんぼぼの里 大川原作業所	川口 敬
光のフェアリー	森藤 真須美	ワークプラザ松浦	
つくしの里	黒田 美佐子	社会福祉法人結の会	割石 賢明
みさかえの園のぞみの家		NPO法人のぎく	中田美恵子
みさかえの園第二めぐみの家	齋木 初江	ワークハウスほのぼの	米田 真喜
障害者支援施設 こざくら学園	井石 美穂子	杉の木ホーム	須賀 博司
社会福祉法人八幡会 あけぼの学園	志賀 稔	あゆみ園	米田 靖夫
社会福祉法人星のくま	磯田 正也	NPO法人五島あすなろ会	土岐 寛志
桜が丘学園		ほっとホーム富希	
ゆたかカレッジ長崎キャンパス	長谷川 正人	ふじ学園	杉 秀宜
NPO法人障害者就労支援センター		五島市はまゆう福祉作業所	榎田 悦男
社会福祉法人恵風会	高濱 浩	社会福祉法人福江福祉会 五島育成園	杉 徹也
むすび会 おおぞら作業所	吉木 利徳	さゆり会 けいふはうす	長谷川 英樹
合同会社ハイル	尾崎 俊平	互隣の家	
さきり工房ながさき	上野 左千子	もくもく	吉原 久司
ライフステーション	野崎 由美子	ありえ未来ワークセンター	
諫早ワークス		普賢学園口之津	金子 真也
大村さくらの家	原口 健一	障害者支援施設 平戸祐生園	佐藤 慎一郎
(社福)共生会	梅本 昌秀	グループホームなめし	長島 志津代
社会福祉法人三彩の里	江口 司	ゆめホーム	安部 千里
あかつき学園	志賀 広子	社会福祉法人風車会	中村 鉄舟
普賢学園	本田 尚人	社会福祉法人コスモス会	本田 利峰
多機能型事業所「エリア21」	辻 英三郎	グループホームむなかた	志賀 広子
一般社団法人希望社	中山 忠士	ワークハウス	大久保ひろ子
長崎基準寝具有限公司	森田 泰	グループホームおおぐし1号・2号・のぐち1号・2号・かめだけ	
夢工房みどり	山田 順子	ひかりホーム	若松 啓介
さんらいず	田坂 嘉朗	社会福祉法人山陰会 自然寮	
社会福祉法人福陽会 小浦の里		NPO法人すみよし のぐさ	
ワークあじさい	藤原 剛	相談支援事業所 えくぼ	
社会福祉法人 武正会	北島 正一	つくし学園	森 誠
障害福祉サービス事業「陽香里工房」	山田 直子	NPO法人インフィニティ	門畑 和也
多機能型事業所 であいの家	森 和行	平戸市社協障害者相談支援事業所	
多機能型事業所 きらら		株式会社 優里	森 智子
千草野学園	桑原 節子	社会福祉法人長崎慈光園	白川 利勝
のびのび	丸田 竜宏	社会福祉法人 南高愛燐会	田島 光浩

知的障害児者・自閉症児者のための 生活サポート総合補償制度

（年間掛金）Aプラン：17,000円、Bプラン：23,000円、Cプラン：22,000円

入院給付金 個人賠償責任保険金 葬祭費用保険金
死亡・後遺障害・入院・通院・手術の各保険金

既往症、てんかん発作など知的障害児者・自閉症児者の方が抱える様々なリスクを補償するために開発された制度です。
パンフレットのご用命は下記事務局または担当代理店へお問い合わせください。



（事務局）ながさき知的障害児者生活サポート協会

TEL：095-845-5668 FAX：095-845-5664

（担当代理店）ジェイアイシー九州

TEL：092-791-7561 FAX：092-791-7562

おすすめBプラン

★入院給付金 2日目から補償

★個人賠償 最高3億円まで補償

★ケガの入院を日額5,000円、通院を3,000円補償

《 長崎県手をつなぐ育成会行事のお知らせ 》 6月まで

行 事	月 日	場 所	概 要
長崎県事業所協議会	4 月 25 日(金)	五島市保健福祉センター その他施設見学	9:30～12:00 決算・予算・現況報告・全国 研修会報告・「住み慣れた地域で の生活を支えるために」検討会 13:00～15:30 施設見学等 ※新型コロナウイルスの影響で 中止もあり得ます。
長崎県 ゆうあいスポーツ大会	5 月 17 日(日) ※中止	なごみの里運動公園 (諫早市多良見町)	7:30～運営委員集合 8:30～参加者集合 9:00～15:00 開会・競技・閉会
長崎県 障害者スポーツ大会	5 月 31 日(日)	長崎県総合運動公園 (諫早市)その他	9:50～総合開会式 この間 各会場で競技 16:20～総合閉会式
長崎県育成会理事会	6 月 6 日(土)	長崎県総合福祉センター	13:00～16:00 事業報告、決算その他

長崎県育成会定期総会

6 月 20 日(土)
長崎市原爆資料館ホール

13:00～13:30 式典
13:40～14:10 議事
14:10～14:20 報告事項
14:30～15:55 意思決定支援研修の成果(冊子)報告
(講師:大学教授 高島恭子氏)



「手をつなぐ」は、知的な障害のある当事者(本人・家族)に関する教育・福祉・労働等々の諸施策を中心に、全国手をつなぐ育成会連合会が編集・発行している月刊誌です。文字どおり、全国の仲間が「手をつなぐ」ために役立つ情報誌です。

年間 3,900 円 B5 版 48 ページ

長崎県手をつなぐ育成会までご連絡ください。

申込みは TEL 095-846-8730 FAX 095-846-8738 へ

**知的障がい・発達障がい
ダウン症・てんかんの
ある方のための保険**

病気でケガでの
入院

虐待・差別・逮捕に
対応

誤って物を壊してしまう…

個人賠償
責任補償
最高5億円

※(総合生活保険(個人賠償責任補償))
引受保険会社:東京海上日動火災保険株式会社

最高日額1万円

弁護士費用補償

**ぜんちの
あんしん保険**

東京海上日動の
個人賠償責任補償付

少額短期健康総合保険(無告知型) 2016年創設

**ぜんちの
こども傷害保険**

東京海上日動の
個人賠償責任補償付

権利補償付傷害保険(2016年創設)

日常生活でケガを
することが多い…

トラブルに巻き込まれた服、
誰も助けてくれない…

当事者同士での
解決が難しい…

入院・通院を日額保障

弁護士がサポート

示談交渉サービス付き

ネット申込・年払・月払OK | クレジットカード払OK ※ネット申込のみ

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

詳しい資料のご請求・お問合せは下記までお気軽にどうぞ

<代理店>

有限会社 トータルサービス

TEL 095-832-2430

〒850-0033 長崎市万才町6-35 三井生命長崎ビル5階

ぜんち共済株式会社

ZENCHI 関東財務局長(少額短期保険)第14号
〒101-0032 東京都千代田区岩本町三丁目5番8号岩本町シティプラザビル5F

コールセンター ☎ **0120-322-150**

ぜんち共済 検索 http://www.z-kyosai.com/

[2017年12月作成 17-T08668]